

防音床下地材 N E S T 防音 P マット

【 販 売 技 術 資 料 】

株式会社 クワザワ

2013年 4月

【NEST防音Pマットの特長】

1. 防音性能は

- ・各周波数ごとに、約8～10dB下がります。

*弊社実測値であり、建物の構造・環境条件等により変わりますので、保証値ではありません。

10dB下がれば聞こえる音の大きさは、実感としてほぼ半減します。

2. 施工性は

- ・素材の裏面に特殊なエンボス加工を施すことで、防音性能を高めており、従来よりも**薄く、軽くなっているため、施工しやすくなりました。**
- ・カッターナイフ等で**簡単に切断できます。**
- ・敷き込み時に**接着剤は不要です。**

3. 主原料は

- ・電線の廃材を利用した再生軟質PVCを使用しており、資源リサイクルに貢献しております。

4. アスファルト系防音マットと比べると

- ・熱による変形が少ないので、夏季の施工時の**ベタつきはありません。**
また柔軟性のある主原料を使用しているため、冬季の施工時の**割れの心配がありません。**
- ・鉛や鉄を使用していないので、切断の際**カッターナイフ等の刃を傷めたり汚すことはありません。**
- ・耐熱性のある主原料を使用しているため、熱による**製品が変形することはありません。**
床暖房に使用することが出来ます。

5. ゴム系防音マットと比べると

- ・柔軟性のある主原料を使用しているため、**商品の自重で割れる心配はありません。**
- ・再生ゴムにある特有の臭いがなく、**施工時に臭いが気になりません。**

6. 防音フローアーと比べると

- ・丈夫で硬い材質なので、歩いたときに**フワフワしません。**

7. 揮発性有機化合物について

- ・ホルムアルデヒドなど揮発性有機化合物は含まれておりません。

【NEST防音Pマット 施工要領】

1. 下地の施工

床下地として、厚さ12mm以上の合板を平滑に貼って下さい。

(床鳴りの原因となるので、段差が生じたり、釘頭が出ないようにして下さい)

2. 商品の切断

寸法取りした後、カッターナイフ等で切断してください。

3. 商品の敷き込み

床下地の目地とずらして、隙間無く敷き込んで下さい。

敷き込み方は、右写真の①、②どちらでも構いません。

①



②



4. 商品の固定

4つの角を釘又はタッカー針で打ち込んで下さい。

接着剤は不要です。

5. 床仕上材の施工

最後に仕上材を敷き込みます。

木質フローリング、クッションフロア、

カーペット、畳に対応します。

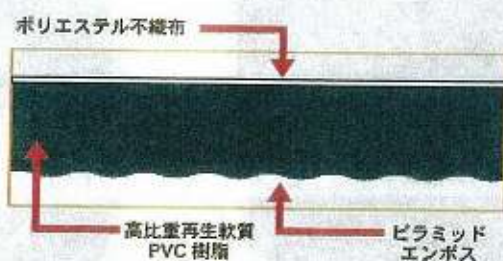


【取扱上の注意】

- ・立てかけたり、曲げないで下さい。（折れる場合があります）
- ・保管は平らな場所で平積みして下さい。
- ・野外に放置しないで下さい。
（雨風等により不織布面に湿気や汚れが付きます）
- ・床防音以外の用途には使用しないで下さい。

【商品構成】

厚さ×巾×長さ	重量	NB-50	3mm×500mm×1000mm	約3.15kg/枚
		NB-45	3mm×455mm×910mm	約2.6kg/枚



【解体・廃棄に関する製品情報】

- 解体
解体時は廃プラスチックに分別します。
- 廃棄
廃プラスチックとしてマニフェスト管理を行い産業廃棄物として廃棄処分します。

防音性能試験結果

測定日	2012年9月4日	測定場所	一般財団法人 日本建築総合試験
試験方法	JIS A 1418	試験項目	建築音響測定

【1. 試験体の種類および構成】

測定場所	日本建築総合試験	施工時写真	
試験体	NEST防音Pマット		
構成			
 <p>試験用床材(床の構造は別紙1参照)</p>		<p>試験用床材</p> 	<p>床材施工</p> 
		<p>フローリング施工</p> 	<p>タッピング試験</p> 

【2. 測定方法】

●測定装置

1. 騒音計(オクターブ分析器) 小野測器 DS-2000 建築音響測定システム
2. 軽量床衝撃音発生器(タッピングマシン)

●測定内容

1. 試験手順

測定は、JIS A 1418「建築物の現場における床衝撃音レベルの測定方法」に準拠して行った。
5打点にて測定。(試験床4m * 2.5mの全面に試験体及びマットを敷き規定された5か所を測定)

* 試験床の詳細な構造は、別紙1参照

2. 音源位置、受音位置の設定

- ①上下階で、同じ空間がとれる試験室の、対角線を結んだ交点を1点、その交点から角を結んだ線の中間点を各4点とし、計5点を音源位置および受音位置とする。
- ②音源装置、受音装置とも周壁から50cm以上はなす。
- ③受音のマイクロホンの高さは、床上 1.2m~1.5mとする。

* 音源位置、受音位置の設定図は別紙2参照

3. 測定

- ①軽量床衝撃音発生器を、音源位置に順次設置し、床衝撃音を発生させる。
- ②音源位置1点に対し、それぞれの受音位置で、50Hzから5000Hzまで1/3オクターブごとに21帯域について測定。

●試験片内容

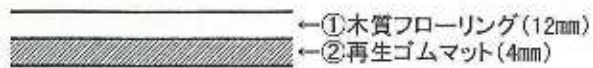
試験片については、別紙3参照

別紙3

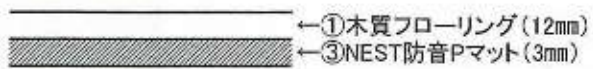
床衝撃音レベル低減量試験

実験室床: 木造仕様

研究開発用支援測定



木造床



木造床

残響室による試験(JIS A 1418)

・衝撃源はタッピングマシンを使用し、軽量衝撃音を測定。

【試験体詳細】

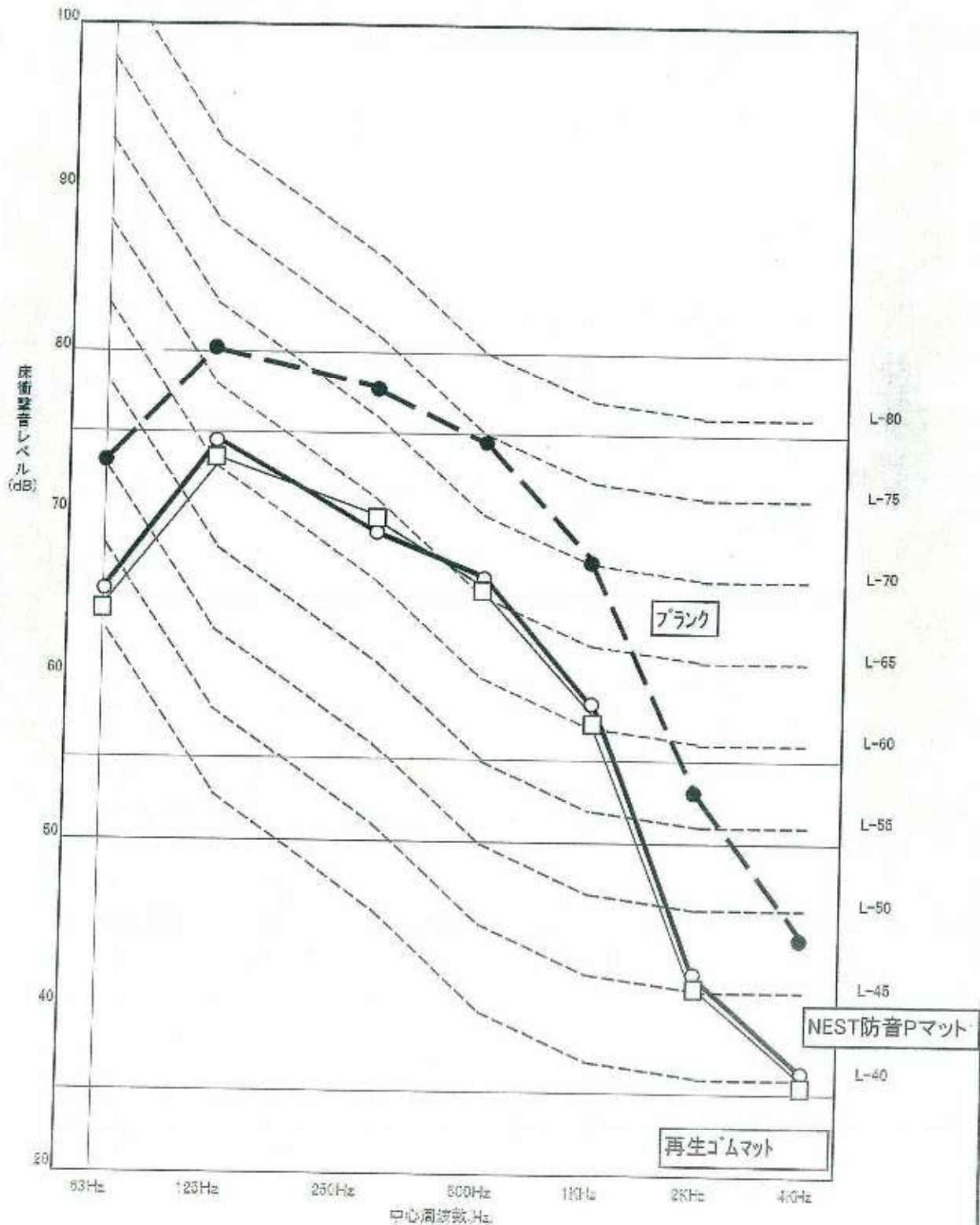
①12mmフローリング	12mm厚×303mm×1,818mm/枚
②再生ゴムマット(4mm)	4mm厚×455mm×910mm/枚
③NEST防音Pマット(3mm)	3mm厚×455mm×910mm/枚

【測定結果】

軽量床衝撃音 音圧レベル

(単位: dB)

試験体	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1KHz	2KHz	4KHz	
●ブランク(dB)	73.8	80.3	77.6	74.7	67.3	53.6	44.1	L-75
○NEST防音Pマット(dB)	65.2	74.7	68.6	66.9	58.7	42.1	33.8	L-70
□再生ゴムマット(dB) (従来品)	64.2	73.6	68.9	65.4	58.0	41.8	33.4	L-70



軽量床衝撃音 音圧レベル測定結果

* 上記データは実測値であり、保証値ではありません。

NEST防音Pマット / 再生ゴムマット / アスファルトマット 加熱試験結果(圧縮法)

【試験体】

NEST防音Pマット、再生ゴムマット、アスファルトマット

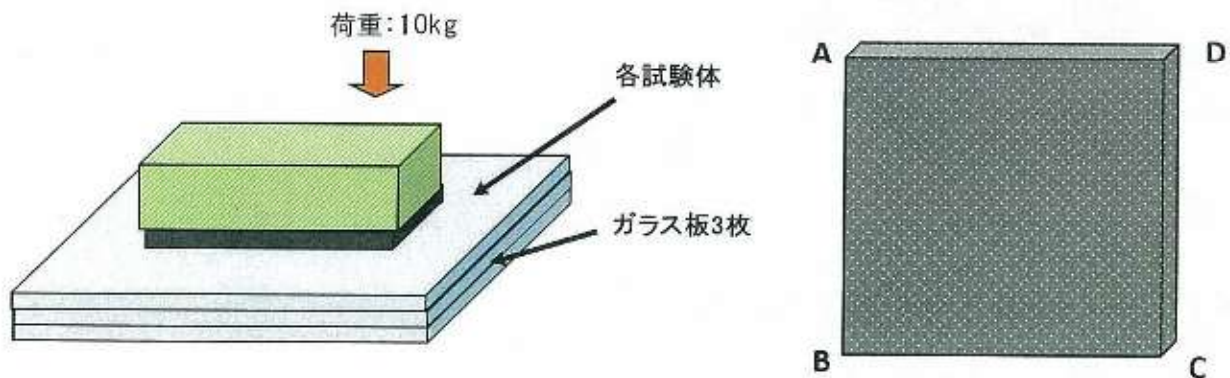
【試験場所】

(株)高山化成 伊賀上野工場内

【試験方法】

試験体を恒温機90℃で8時間加熱、その後下部の図のように、試験体に荷重10kgをかけ、試験体の寸法、伸び、厚みの変形具合を確認。

尚試験方法は、(株)高山化成の社内試験方法に準拠。



【試験結果:加熱による長さの変化率(%)】

タイル		長さ方向			幅方向		
		AB	CD	平均値	AD	BC	平均値
NEST防音Pマット	試験前(mm)	304.81	304.81	304.81	304.77	304.72	304.75
	試験後(mm)	304.66	304.65	304.66	304.85	304.96	304.91
	変化量(mm)	0.15	0.16	0.16	-0.08	-0.24	-0.16
	変化率(%)	-0.05	-0.05	-0.05	0.03	0.08	0.05
再生ゴムマット	試験前(mm)	304.81	304.79	304.80	304.62	304.62	304.62
	試験後(mm)	304.67	304.62	304.65	304.46	304.44	304.45
	変化量(mm)	0.14	0.17	0.16	0.16	0.18	0.17
	変化率(%)	-0.05	-0.06	-0.05	-0.05	-0.06	-0.06
アスファルトマット	試験前(mm)	304.97	304.98	304.98	304.79	304.80	304.80
	試験後(mm)	303.13	303.43	303.28	305.17	305.08	305.13
	変化量(mm)	1.84	1.55	1.70	-0.38	-0.28	-0.33
	変化率(%)	-0.60	-0.51	-0.56	0.12	0.09	0.11

収縮

膨張

* 試験結果は実測値であり、保証値ではありません。

【試験体】

NEST防音Pマット、再生ゴムマット、アスファルトマット

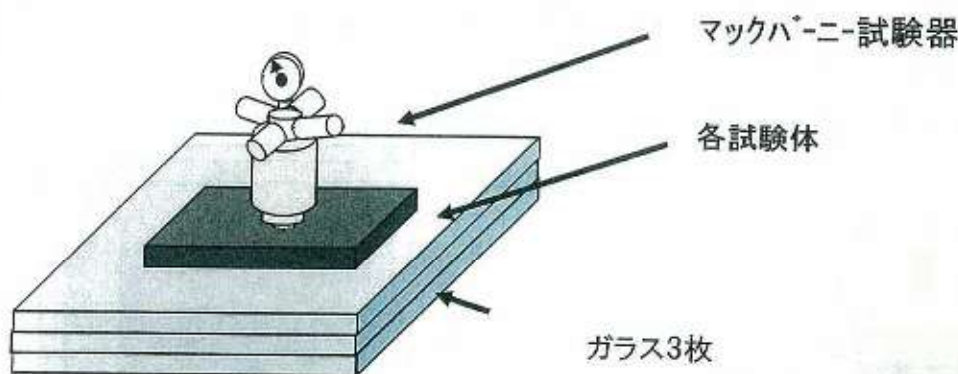
【試験場所】

(株)高山化成 伊賀上野工場内

【試験方法】

試験体を恒温機87°Cで4時間加熱、その後下部の図のように、試験体にマックバーニー凹み試験器を置き、恒温器内で、規定された鉄玉を87°Cで1分間押し付けた際の凹み量を確認。

* 尚試験方法は、JIS A 1454に準拠。



【試験結果：鉄玉よる試験片の凹み量及び凹み率】

NEST防音Pマット



凹み量 1.63 mm
 凹み率 54 % (加熱前試験体の平均厚み 3.02mm)

再生ゴムマット



凹み量 3.16 mm
 凹み率 83 % (加熱前試験体の平均厚み 3.83mm)

アスファルトマット



凹み量 3.49 mm
 凹み率 88 % (加熱前試験体の平均厚み 3.94mm)

* 試験結果は実測値であり保証値ではありません。